



● 建築主体工事	1,596,000 (千円)
● 設備工事	702,000 (千円)
● 外構工事	106,000 (千円)
● 現庁舎解体工事	86,000 (千円)
● 消費税相当額	199,200 (千円)
● 合計	2,689,200 (千円)

建設
工事費



新庁舎南東側イメージ図

町では、平成27年度の新庁舎完成に向けて、平成25年10月から実施設計を進めてまいりました。この度、実施設計がまとまりましたのでお知らせいたします。
新庁舎に関する情報は、町ホームページでも公開しています。

幕別町 新庁舎 [検索](#)

■ 問い合わせ先
都市施設課建築係 TEL0155-54-6623

新庁舎建設 実施設計 がまとまりました

機械
設備概要

- 【主な熱源】
 - 地中熱 ● 空気熱 ● 灯油
- 【暖房機器】
 - 地中熱ヒートポンプ(110KW)
 - 空気熱ヒートポンプ(182KW)
 - 真空式温水ボイラー(灯油/150KW)
- 【制御方式】
 - 中央監視機能付き自動制御
- 【地中熱ヒートポンプ】
 - 採熱管(ボアホール)×16本(85m×12本、80m×4本)
- 【給水設備】
 - 飲用水:直圧給水
 - 雑用水:加圧ポンプ給水(防災水槽:断水時3日間対応)
- 【消防設備】
 - 屋内消火栓
- 【トイレ設備】
 - ユニバーサルトイレ(1階)
 - 多機能トイレ(各階)

各階に多機能トイレ、1階にはオストメイト対応のユニバーサルトイレを設置します。
また、地中熱や空気熱を利用した暖房システムにより庁舎から発生する環境負荷を軽減します。

電気
設備概要

- 【受変電設備】
 - 普通高圧受電(変圧器容量1,000KVA)
- 【自家発電機】
 - 250KVA
- 【照明設備】
 - LED照明を主に採用(場所により昼光センサー又は人感センサーで制御)
- 【電話交換設備】
 - デジタル交換機
- 【太陽光発電設備】
 - 単結晶系ハイブリッド型13.9KW
- 【防災設備】
 - 非常放送
 - 避難誘導灯
 - 非常用照明
 - 自動火災報知機(GR型受信機、自動試験機能付き)

太陽光発電システムなど、自然エネルギーを有効活用し、省エネに配慮した自然環境に優しい電気設備です。
自家発電システムを設置し、災害等による停電時でも庁舎機能が維持できます。

建築
概要

- 【建物規模】
 - 地上3階建て
 - 延べ床面積5,217.59㎡(建築基準法上の面積)
- 【構造】
 - 鉄筋コンクリート造(免震構造)
- 【免震装置】
 - 天然ゴム系積層ゴム支承×12基
 - 鉛プラグ入り積層ゴム支承×20基
 - オイルダンパー×12基
- 【外装仕上】
 - レンガ積み及びカラーガルバリウム鋼板貼り(外断熱工法)
- 【外部建具】
 - 断熱アルミサッシ ● 複層Low-eガラス
- 【エレベーター】
 - 15人用(積載量:1000kg) ● 定格速度:45m/分
 - 2枚戸両引き ● かご室内寸法:1.6m×1.5m
 - 車いす専用乗場ボタン及び操作盤

- 【主な内装仕上】
 - ① 事務室
 - 床:タイルカーペット(OAフロア)
 - 壁:塗装仕上げ
 - 天井:岩綿吸音板(木製カウンター設置)
 - ② 町民ロビー
 - 床:タイル張り
 - 壁:塗装仕上げ(吹抜け壁は一部木ルーバー仕上げ)
 - 天井:アルミルーバー(木柄)
 - ③ 議場
 - 床:タイルカーペット(OAフロア)
 - 壁:木ルーバー(吸音壁)、珪藻土塗装
 - 天井:アルミルーバー(木柄)、岩綿吸音板
 - ④ 町長室
 - 床:タイルカーペット
 - 壁:木練付パネル、ビニルクロス仕上げ
 - 天井:岩綿吸音板

車いすなどでも利用しやすい段差のないフロア、エレベーターには車いす用の低い位置のボタンや操作盤を配置するなど、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインが図られた庁舎になります。また、免震構造を採用し、大地震などの災害発生時にも復旧・復興活動の拠点として必要となる安全性と耐震性を備えています。

今後の
スケジュール

- 平成26年8月中旬～平成28年3月……………新庁舎建設工事(建築主体、設備工事)
- 平成28年度……………新庁舎移転、現庁舎解体工事、外構工事